

代表からのご挨拶

サンライズ・メイト・バート株式会社

代表取締役 井上 明美



いつも皆様方には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

梅のつぼみがほころぶ季節となり、春の訪れが待ち遠しく感じます。コロナ禍にある中での生活に困窮している方々が多いと思いますが皆様が、良き春をお迎えになるようにお祈り申し上げます。

サンライズの物語

また逢いましょう——

家族とのお別れの物語



その方は、肝がんと診断され今年になって急に動けなくなった方でした。

奥様は膝が悪くご主人が元気な頃は買い物や掃除等全てご主人が助けてくれていたとの事。

介護保険を使わずをえない状況に涙されておりました。最近まで元気にされていたこともあり今の状態を受け入れるのに子供さん達も戸惑っていたのです。

そんな中15日余りで息を引き取ってしまいました。お悔みに訪問すると息子から奥様に言われた言葉が「じいじが見たくても見られなかった未来を生きている俺たちが見なければいけない。」と・・・。

戻らない幸せな時間があったことをご主人が教えてくれたと思うと泣いておられました。

生き残った家族の辛さ、生きたくても生きられない人の思い・・・。亡くなった人の事を思い出す人が居る限り家族の中でその人は生き続けると。

私が何時も掛ける言葉は、「さよならではなく、またお逢いしましょうね」

先人の教えのように人は亡くなっても必ず再会できることを願ってやみません。

サンライズのデイサービス陽光だより



カレンダー塗り絵を作りました。
2月は節分の絵柄です。きれいに仕上がりました。



手芸でスイーツみたいなマグネットを作りました。
皆さんそれぞれ可愛い飾り付けです。裏がマグネットになっているので実用的です。

NEWS 今月のニュース

高齢者に見守りカメラ 訪問介護現場で実証実験 飯塚のソフト会社

福岡県飯塚市のソフトウェア開発会社「ラムロック」と介護サービスの業界団体「全国介護事業者協議会（民介協）」は、訪問介護サービスの利用者宅に見守りカメラを設置する実証実験を行っている。新型コロナの影響で会いに来られない遠方の家族と事業所が、高齢者の情報を共有することで、介護の質の向上が期待される。

設置しているのは同社のカメラ「みまもりCUBE」で、一辺が9センチ程度の立方体。玄関の出入りや寝起きを検知し、家族と事業所

に画像付きメールを送る。これまでも高齢者宅や介護施設に設置していたが、新型コロナの流行で事業所が通所介護を制限、利用者も利用を自粛するなど訪問介護サービスの必要性が増加していることから、初めて導入した。

長野県松本市に住む女性の娘（58）は、メールが届いたらできるだけ母親の自宅に電話を入れて「何をしているの」と声を掛けている。女性は「電話で母の気を紛らわすことができる。メールが来たら状況がすぐに分かるので助かっている」と話す。

今後、ラムロックは別の事業所

とも実証実験を行う予定という。同社の萬屋菊洋・取締役経営企画室長は「安心して暮らせる環境作りを後押ししたい」。ライフサービスの松下社長は「家族と事業所が共同で介護に関わっていくのが大きな狙い。少し負担にはなるが、家族の安心にもつながる」と話している。



<西日本新聞 2021/1/22(金)>

広報誌「ライジング・サン」のバックナンバーは、弊社ホームページでもご覧いただけます。

ぜひお立ち寄り下さいませ。 <http://www.samaba.jp/back-number/>